



天然記念物

8 1. やぶ椿^{つばき}

■指定年月日 平成 11 年 5 月 19 日 (1999)

■寸 法 樹高 8 m 幹周 (0.4 m 高) 2.3 m

■所 在 地 三崎町宇治ヨ18

■所 有 者 ほんりゅうじ
本龍寺

本龍寺境内にあるヤブツバキ(開花時期3～5月、赤花、花弁5～8枚)は、幹は荒々しく脈打つような凹凸がある老木。樹高は8.0 m、地上0.4 mで幹周り2.3 mある。地上0.8 m付近で5本の幹に分かれ、いずれの幹も幹周り1 mを超え、上部でさらに複雑に枝分かれする。上部の枝は径11 mと半球形状に広がる。この容姿から地元では「千手観音椿」と呼ばれ親しまれている。本龍寺ではツバキと同じところに桜が開花し、両方の花が同時に見られることもある。また、赤色の落椿が樹下一面に広がった光景は見事である。

植物分布上、珠洲市はヤブツバキクラス域(常緑広葉樹林域)に含まれるため、天然のヤブツバキ

は海岸の岸壁から標高200 m付近まで広い範囲で見られる。そのため市花に指定されるほど大切な花木でもある。防風林や観賞用などに植栽されたものもあるが、市内では単木で幹回り1 mを超えるヤブツバキは50～60本あり、その中で最も幹周りが大きく、市内を代表するヤブツバキである。